

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		3. 学校給食について。	<p>(1) 小学校給食について。</p> <p>①国においては、今年4月から小学校給食費の負担軽減を進める新たな仕組み（いわゆる給食無償化）が示され、基準額は児童一人当たり月額約5,200円とされている。本市の給食費はこの基準額の範囲内に収まっていると聞き及んでいるが、制度導入にあたり、物価高騰が続く中でも、栄養水準、献立内容、食材の質等をどのように維持していくのか、市の見解を聞く。</p> <p>※負担軽減の実施によって給食の内容が低下することがあってはならないと考えるが、制度導入後も質を担保する具体的な取り組みについて、市の見解を聞く。</p> <p>②物価高騰の影響により、牛肉やデザート等の提供機会が減っていると聞き及んでいる。本市としてその状況をどのように認識しているのか。また、食材費上昇が続く中で、おかずの充実等をどのように確保していくのか、市の見解を聞く。</p> <p>③令和7年4月より、小学校中学年の3年生・4年生の場合は、生米5グラムを減らして提供していると聞き及んでいるが、今後も同様の対応を継続するのか、市の見解を聞く。</p> <p>※お米の提供量の調整について、子どもの発達や満足度の観点からどのように検証しているのか、残食の状況やアンケート等を含めた評価指標等について聞く。</p> <p>④不登校等により給食を食べない児童への対応や費用の取扱いについて、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 中学校の全員給食導入に伴う運用について。</p> <p>※小学校と中学校では保護者の給食費の支払い方法等に違いがあると認識している。中学校の全員給食導入により、保護者の負担軽減の観点から、徴収方法や手続きはどのように変わるのか聞く。</p> <p>(3) 重点支援地方交付金の活用状況等について。</p> <p>※令和7年度と令和8年度における活用内容等の違いについて、詳細を聞く。</p>
		4. サバーファームの現状と今後について	<p>(1) 指定管理者間の連携状況、本市と指定管理者との連携状況等について。</p> <p>(2) 指定管理者において、サバーファームの担当者が頻繁に変わっていることについて、市はどのように受け止めているのか。</p> <p>(3) サバーファーム産のいちごが、にこにこ市場では販売されていないことについて、市はどのように受け止めているのか。</p> <p>(4) サバーファームの魅力化、集客力の強化等について、市が採り得る手段はあるのか。</p> <p>(5) 指定管理者としての適性を欠く場合、市はどのような手段で対応するのか。</p>
2	<p>公明党 代表質問 6番 村山 理恵</p> <p>(質問方式) 一問一答</p>	1. 全市的な避難所開設訓練の実施について	<p>(1) 担当職員を含めた避難所受付訓練について (避難者受付シートをつかったアナログ受付)</p> <p>(2) 災害時用公衆電話の導通訓練について</p> <p>(3) ペット同行避難訓練について (再度ペット避難スターターキットの導入も求める)</p> <p>(4) 避難時の学校利用計画のごみ処理計画に基づいた訓練について</p> <p>(5) 実際に資機材を使い、地元地域住民による炊き出し訓練について</p>
		2. 防災・減災対策の強化について	<p>(1) 断水時でも使用可能な水循環式シャワーキットについて (想定している仕様と活用方法、導入予定に至るまでの経過を問う)</p> <p>(2) 災害対策用ドローンの導入について (想定している仕様や操縦者などの体制と出動のタイミング、画像の連携など活用目的を問う)</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		3. 災害時の災害対策本部の通信手段の確保について	(1) 本市の方針と現状について (2) 災害時も繋がる公共安全モバイルシステムの導入について
		4. 避難者情報の事前登録について	(1) 本市LINE公式アカウントでも、藤井寺市LINE公式アカウントの「避難者情報を事前に登録する」機能を導入し、より身近な方法での市民の避難所受付のデジタル化を目指してはどうか
		5. 災害時の建物倒壊によるアスベストの健康被害について	(1) これまでの被災地のアスベストによる健康被害の状況について (公共施設を含む本市内の建築物についても問う) (2) 被災者やボランティアのアスベストによる健康被害の防止について
		6. 「金剛地区の新たなまちづくり」について	(1) 金剛中央公園・多機能複合施設の官民連携による整備・運営に向けて、この間どのように検討を行い、今後具体的にはどう取り組んでいくのか (2) 寺池公園の魅力化のハード面（遊歩道のスロープ化およびトイレや駐車場整備）を求めて (3) 金剛きらめきイルミネーションの効果的な演出への見直しについて
		7. 重点支援地方交付金の活用について	(1) 効果的なプレミアム付きデジタル商品券の発行を求めて ①発行時期を含めたスケジュールや想定している内容について ②地域経済の活性化および市内事業者応援と、市民の生活応援の両方をかなえるため、利用者は富田林市民に限定するべきと考えるが、市の見解は？ ③デジタル商品券を購入する時や使い方などのサポート体制と周知方法について
		8. 子どもたちへの情報リテラシー教育とアルゴリズムリテラシー教育の推進について	(1) 本市立学校における情報リテラシー教育の必要性について ①一人一台端末を活用した調べ学習の状況について、科目別の内容や活用頻度などはどうなっているのか ②調べ学習を行う際に、正確な情報を得るためにどのようなことに留意しているのか。 ③AI技術を用いて作られたディープフェイクなどの偽情報にだまされないための情報リテラシー教育や保護者への啓発をどのように進めているのか。 (2) アルゴリズムによる偏った情報から子どもたちを守るためのアルゴリズムリテラシー教育について、教育委員会の認識と推進について問う
		9. 市民の利便性を考えたLINE公式アカウントの活用と市ウェブサイトのリニューアルを求めて	(1) LINE公式アカウントの運用状況と配信デザインの工夫について (2) LINE公的個人認証サービスの活用について (3) 市ウェブサイトについて、市民にとって、よりわかりやすく親しみやすいデザインにしてはどうか (4) 市ウェブサイトデザインのリニューアル予定について

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		10. 令和8年4月1日施行の自転車運転者への交通反則通告制度（青切符制度）の導入および歩行者専用道路における歩行者の安全確保について	(1) 自転車運転者への交通反則通告制度（青切符制度）の導入背景と概要について (2) この制度を多くの市民に知ってもらうための取り組みについて (3) 交通反則通告制度に基づき、警察による歩行者専用道路への自転車乗入れに対する指導・取締りと、本市の取り組みについて
		11. 若年層に対するプレコンセプションケアと正しい知識習得機会の確保について	(1) 本市立小中学校において、「妊娠の仕組み」「妊よう性の加齢変化」「将来のライフプラン形成」に関する指導の現状について (2) 公的助成制度等の周知について ①大阪府が実施する「早発卵巣不全患者等妊よう性温存治療助成事業」について、市ウェブサイトへの掲載状況、母子保健事業での周知方法、学校を通じた情報提供の有無など、本市の具体的取組を問う ②20歳のつどい等、若年層が集まる機会を活用し、「オンラインプレコン講座」「AMH検査助成」「卵子凍結助成」等について、二次元コード等を用いた情報提供を行うことを求めて
		12. 生活困窮世帯等も支えるつながりフードサポートセンターの持続可能な支援体制の構築について	(1) つながりフードサポートセンターの運営に関する今後の本市の方針について ①令和7年度答弁で示された「財源メニューの研究・情報提供」及び「広報面の協力」について、この間の具体的取組内容と成果について ②施政方針に『「つながりフードサポートセンター」との連携を図り、子ども食堂の運営支援を継続する』とあるが、持続可能な支援体制の構築のために、企業連携や企業版ふるさと納税を活用するなど、本市がコーディネート機能を強化することを求めて
3	とんだばやし未来代表質問 10番 尾崎 哲哉 (質問方式) 一問一答	1. 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の具体化について	(1) 「困難女性を支援する施策」等の推進について 特に、「困難な問題を抱える女性への支援」の役割を専門とする「女性相談支援員」の配置について (2) 「困難女性を支援する施策」を位置づけた計画の検討状況、今後のスケジュール等について (3) 包括的な女性相談体制の整備（他の自治体等との広域連携含む）の検討について
		2. 中学校給食の無償化について	(1) 令和8年2学期から実施される予定の中学校全員給食について、どのように実施されるのか (2) 中学校給食の無償化および義務教育における給食の位置づけについて (3) 自治体間競争の時代における中学校給食無償化戦略について (4) 費用ではなく投資としての位置づけについて

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		3. 適正に管理されていない空き地への対応について	(1) 前回の議会質問以降の対応経過と現状について ①管理不全土地に関する苦情・相談件数および実態について ②対応の効果検証および進捗管理の仕組みについて ③長期未改善事案の現状および対応状況について (2) 条例運用の実効性について ①判断基準および内部運用指針の整備について ②条例の実効性に対する評価について (3) 市の基本姿勢と今後の方針について ①空き地問題の課題認識と政策課題としての位置付けについて ②所有者責任の周知強化および悪質事案への対応方針について ③国への法整備に関する要望活動について
		4. 農業振興の具体的な施策について	(1) 「農業振興ビジョン」の中間見直しについて ①前期5年間で重点的に取り組む「チャレンジプロジェクト」について (2) 市内14地区で策定された「地域計画」の内容の充実と実効性の向上について ①農地所有者の意向確認、めざすべき地域農業の実現について ②道の駅むなかた（福岡県）を視察して (3) 農業公園サバーファームについて ①3つのコンセプトの進捗状況や見直しについて ②来園者の意見は。イベントの定期開催について ③来園者の長期滞在を促す施設整備等とは具体的に何か
		5. 交通不便地域等の解消と持続可能な地域公共交通政策について	(1) 交通不便地域の定義と実態把握の再構築について (2) 地域主体の方式から市主導への転換について（AI オンデマンド交通等、市主導による新たな手法についても聞く） (3) 財源と政策優先順位について (4) 本市としての政策的判断と実行責任について
4	自民・笑顔の会 代表質問 17番 今城 克久 (質問方式) 一問一答	1. 地域経済の活性化について	(1) 重点支援地方交付金の活用について ①昨年令和7年12月議会と今回令和8年3月議会での重点支援地方交付金を活用した支援内容と支援時期の選定について ②地域通貨の導入におけるメリットとデメリットについて ③地域通貨ではなく、既成のデジタル商品券の発行を選んだ理由について (2) プレミアム付デジタル商品券の発行について ①概要と目的について ②令和4年度に実施したポイント還元キャンペーンとの違いや改善点について

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
			<p>(3) 大阪南部高速道路事業化推進について</p> <p>①大阪南部高速道路の事業化に向けて、現状と富田林市としてこれまでどのような働きかけや調整を行ってこられたのか。</p> <p>イ) 大阪南部高速道路事業化計画について</p> <p>ロ) 大阪府への要望活動の状況について</p> <p>ハ) 国への要望や情報提供の有無について</p> <p>ニ) 南河内地域の関係市町村との連携状況について</p> <p>ホ) 広域的な道路計画における協議への参画実績について</p> <p>②今後、富田林市として高速道路整備の実現に向けて、さらにどのような行動や役割発揮を想定しているのか。</p> <p>イ) 市独自の調査・分析や効果検討について</p> <p>ロ) 地元住民や事業者への意見聴取などの取り組みについて</p> <p>ハ) 広域行政としての戦略的な発信・要望の強化について</p>
		<p>2. デジタルとリアルを組み合わせた新たな観光施策の推進について</p>	<p>(1) 公式周遊アプリ「とんだばやしとりっぷ」について</p> <p>①公式周遊アプリ「とんだばやしとりっぷ」の概要（主な機能）と現在の利用状況（ダウンロード数やイベント参加者数）、これまでのPRや活用イベントなどの実績について</p> <p>②公式周遊アプリ「とんだばやしとりっぷ」利用促進について</p> <p>(2) メタバースを活用した新たな観光手法について</p> <p>①寺内町をデジタルアーカイブ化し、メタバース空間として発信することについて、本市としてどのような可能性や課題認識を持っているのか。</p> <p>②観光誘客・文化財保全・市内回遊の促進といった複数の目的をデジタル施策で横断的に進めることについて、市としての考えを伺いたい。</p> <p>③泉佐野市など近隣自治体の先進事例を踏まえ、富田林市においてメタバースを活用したプロジェクトを試行的に実施する考えはあるのか。</p>
		<p>3. 中学校の部活動の地域展開について</p>	<p>(1) 中学校の部活動の現状と令和8年度で変更となるものはあるのか</p> <p>(2) 現状の課題について</p> <p>(3) 中学校の部活動地域展開に向けた今後の方向性について</p> <p>(4) 協議会の設置やその取り組みについて</p> <p>(5) 拠点校方式の課題について</p>
		<p>4. 要介護認定の迅速化に向けて</p>	<p>(1) 要介護認定の現状把握</p> <p>①要介護認定業務の流れについて</p> <p>②申請日からの各所要の日数について</p> <p>（申請日から調査実施日までの日数、申請日から主治医意見書入手までの日数、申請日から二次判定日までの日数について）</p> <p>(2) 現状の課題と要因の分析、課題に関する対策について</p> <p>(3) がん患者等の入院患者に対する要介護認定の対応について</p> <p>(4) 要介護認定の迅速化に向けた今後の方針について</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
		5. 新庁舎整備と市民サービスの向上について	<p>(1) 新庁舎建設の進捗状況と今後の見通しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ①現在の建設工事の進捗状況について ②資材高騰や人件費上昇による事業費への影響とその対策について <p>(2) デジタル化による利便性向上に向けた取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新庁舎においてオンライン申請やキャッシュレス決済の拡充、その他、受付・案内ロボットなど新たなサービスの導入について ②書かない窓口（マイナンバーカード等を活用した申請書自動作成）の導入について ③新庁舎に設置予定の「おくやみ窓口」等、ワンストップサービスの具体的な運用イメージについて <p>(3) 市民交流スペース等の活用とユニバーサルデザインについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ①設計に盛り込まれた「交流スペース」や「多目的スペース」の利便性の確保、その予約方法、また、喫煙環境の整備等は検討されているのか ②高齢者や障がいをお持ちの方に配慮した「ユニバーサルデザイン」の具体例（誘導ブロック、多機能トイレ、視認性の高い案内掲示等）について <p>(4) 災害対応拠点としての強靱性（防災機能）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①免震構造の採用について ②非常用電源とライフラインについて ③市民の緊急避難場所としての機能について <p>(5) 環境負荷低減とランニングコストの削減について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）への取り組みについて ②再生可能エネルギーの導入について ③地産材（河内材等）の活用状況について（森林保全や地元の林業振興、温室効果ガス抑制の観点等から）
5	15番 京谷 精久 (質問方式) 一問一答	1. 産業振興施策について	<p>(1) これまでの企業立地や雇用促進への取り組みと実績評価と今後の方向性について聞く</p> <p>(2) 令和7年度に実施した企業実態調査を踏まえ、今後具体的な支援策をどのように進めていくのか</p> <p>(3) 企業立地促進条例の実効性を高める施策を求めて</p> <ul style="list-style-type: none"> ①雇用促進に特化した新たな雇用奨励金制度の早期創設を求める ②実際の企業用地確保につながる相談体制や用地確保に向けた具体的な取り組みを求める
		2. 地域公共交通について	<p>(1) 現在の交通不便地域における公共交通の導入に向けての取り組み状況、実証実験等で明らかになった課題、今後の取り組みへの考え方、方向性について</p> <p>(2) 実証実験の結果を十分に検証した上で、実証運行に移行すべきか否かを判断すべきと考えるが、判断する上での基準や条件、考え方について聞く</p> <p>(3) 持続可能な地域公共交通導入には、地域公共交通導入マニュアル（ガイドライン）の中に、本格運行に向けての必要な収支率など、一定基準を作る必要があると考えるが市の見解を求める</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
		3. 町会・自治会の持続と活性化に向けて	<p>(1) 町会・自治会活動の現状と課題認識、今後の方向性について聞く</p> <p>(2) これまでの町会・自治会に対する支援及び課題解決に向けた本市の取り組み状況を聞く（担い手不足の解消、加入参加を促す取り組みに言及）</p> <p>(3) 町会・自治会を地域を支える重要な社会基盤（地域プラットフォーム）と捉える先例事例を参考に、導入可能性の検討を求める（栃木県宇都宮市の事例に言及）</p> <p>①地域コミュニティの基盤としての位置付けと、地域課題解決を担う役割について</p> <p>②町会・自治会を、住民に限らずNPOや企業等をつなぐ地域プラットフォームとして機能強化することについて</p> <p>③町会・自治会活動の負担軽減や若い世代の参加促進に向け、デジタル技術活用の考え方と、先進事例を踏まえた導人可能性について</p> <p>(4) 町会・自治会の地域プラットフォーム化を見据えた条例制定も含め、市の積極的支援による活性化に向けての取り組みを聞く</p>
6	18番 西川 宏 (質問方式) 一問一答	1. SDGs 未来都市としてカーボンニュートラル(脱炭素社会)の実現に向けて	<p>(1) 資源ゴミである古紙・古布の収集の現状について</p> <p>①本市の古紙・古布の回収について、現在どのような仕組みで行われているのか（回収業者や奨励金制度等についても含む）</p> <p>②市の支援制度をご利用の団体数と過去5年間の推移について聞く</p> <p>③団体の存在しない地域の有無とその地域の収集方法について聞く（公平性の観点からも伺う）</p> <p>④市内の古紙無料回収所等について伺う（市外の事業所に古紙・古布が流出する影響についても伺う）</p> <p>(2) 集団回収制度の現状について</p> <p>①過去5年間の回収量と、可燃ゴミとして焼却された古紙・古布はどの程度あるのか聞く（可燃ゴミに含まれる古紙・古布の割合等）</p> <p>②古紙・古布を可燃ゴミとして焼却する場合のコストはどの程度になるのか</p> <p>③集団回収にご協力頂いている団体からの市へのご意見や要望などについて聞く</p> <p>④集団回収の現状について聞く（高齢化や役員不足、古紙・古布相場の悪化、担い手不足等）</p> <p>⑤古紙・古布の相場悪化による問題点について伺う</p> <p>⑥本市が行政回収を実施していない理由と、これまでの検討の有無について伺う</p> <p>⑦行政回収した場合のコスト試算や影響について聞く</p> <p>(3) SDGs への貢献と取り組みの強化を求めて</p> <p>①集団回収団体の減少が進んだ場合の本市の対応について聞く</p> <p>②古紙・古布の回収を請け負う事業者がいなくなった場合の代替措置について確認する</p> <p>③古紙・古布の資源ゴミとしての認識強化と収集体制構築の検討を求めて</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
7	4番 寺内 裕介 (質問方式) 一問一答	1. ALT(業務委託)の雇用を0名にした理由と子どもの意見について。	<p>(1) 本市がALT(業務委託)の雇用を0名にした理由について。</p> <p>①本市のALT(業務委託)は令和元年14名・委託料約2,500万円から令和2年10名・委託料約1,900万円に減らしている。ALTを4名減らした理由について聞く。</p> <p>②本市のALT(業務委託)は令和2年10名・委託料約1,900万円から令和3年2名・委託料440万円に減らしている。ALTを一気に8名も減らした理由について聞く。</p> <p>③本市のALT(業務委託)は令和3年2名・委託料440万円から令和4年以降は0名・委託料0円が現在まで続いている。ALT(業務委託)を0名にまで減らした理由を聞く。</p> <p>④本市は令和8年4月の新年度始まりにおいて、ALT(業務委託)を再導入する予定はないと思うが、本市はなぜALT(業務委託)の再導入を見送ったのか、今後も再導入する予定はないのか、見解を聞く。</p> <p>⑤令和元年4月の吉村市長就任以降、本市のALT(業務委託)が令和元年14名・委託料約2,500万円から0名0円に激減している。この政策は吉村市長の意向なのか、本市教育委員会の意向なのか聞く。</p> <p>⑥令和元年以降から現在に至るまで、本市のALT(業務委託)雇用の削減について、定例教育委員会会議等、教育委員会内で話し合いが行われたのか、行われたのであれば、いつ行われ、どのような話し合いの内容だったのか、聞く。</p> <p>⑦近隣自治体とのALT配置数の差についての見解を聞く。 ※広報おおさかさやま2025年6月号の内容についても言及する。</p> <p>⑧現在、本市には報償費対応しているALTが1名在籍しているが、なぜ直接雇用ではなく報償費対応なのか、理由を聞く。また、本市の報償費対応しているALTの勤務実態は常勤労働者に近い拘束性があると思うが、労働基準法上においても、このままの報償費対応で問題がないという認識か、見解を聞く。</p> <p>(2) 子どもの意見について 令和元年以降から現在に至るまで、本市ALTが関わる授業内容等について、アンケートなどを通じて子どもの意見を聞いているか伺う。聞いているのであればどれくらいの頻度で、どのような聞き方をし、どのような意見が出ているのか、もし聞いていないのであればなぜ聞かないのか、今後は聞くべきではないか、見解を聞く。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
8	13番 寺尾 千秋 (質問方式) 一問一答	1. 富田林市民の置かれている状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・給与所得の収入段階別調べ・生活保護世帯数・就学援助率・年間出生数 ・保育所の保育料算定基準階層別区分での分布状況 ・国民健康保険料の一人当たりの年額 ・介護保険料の一人当たりの基準保険料 ・ひとり親世帯数・保育所待機児童数・特養待機者数 ・一人当たりの市民税、所得税額について、最新の指標と5年前・10年前との比較をお示しいただくとともに、市長の所感を聞く。
		2. HOTデリバリー方式の給食で食育が推進できるのか	<p>(1) 中学校給食デリバリー方式 HOT ランチボックスの委託業者の決定後、開始までの概要やスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ①業者決定後から、開始までのスケジュールを聞く。 ②地元食材の使用量が増やせる余地はあるのか聞く。併せて、増やしていくうえでの課題も聞く。 ③食材の調達・調理方法に自校方式とは違う変更点はあるのか、また、それで安全・安心した給食の提供となるのか聞く。 ④食育の推進に欠かせない、現在自校方式の調理場で働いている調理員の方はどうなるのか聞く。 ⑤自校方式では②③④が食育に大きく関係していると思うが、デリバリー方式で、今後どのように食育を推進していくのか見通しを聞く。 ⑥小学校も中学校も全員給食となるが、不登校やフリースクールに通う児童など学校給食を食べていない子どもたちへの支援が別に必要だと考えるが市の見解を聞く。 <p>(※就学援助制度の適用についても聞く)</p>
		3. 保育料完全無償化の実現でこそ、子育て支援の強化になる	<ul style="list-style-type: none"> (1) 大阪府内の保育料の独自軽減施策を実施している市町村は、何市町村で実施しているのか聞く。併せて、給食費の軽減施策についても聞く。 (2) 3歳児から5歳児の保育料無償化の財源と今後の充実への見通しを聞く。 (3) 2025年度をベースに試算した場合、0歳から2歳児の保育料無償化にかかる費用と、多子カウントの年齢制限をなくした場合にかかる費用をそれぞれお聞かせください。 (4) 3歳児から5歳児の給食主食費及び副食費の無償化にかかる費用をお聞かせください。 (5) 0歳から2歳児の保育料無償化、又は段階的に多子カウントの年齢制限をなくした場合など、実現の可能性について検討していくことが必要だと考えるが、財源確保策についても併せて、市の見解を聞く。
		4. ブラック校則を無くし、子どもが主人公になる校則の策定を求めて	<ul style="list-style-type: none"> (1) ポロシャツの下に着るTシャツの色指定など、意義の説明できない校則はないか聞く。 (2) 子どもが主体的に作る校則になっているのか。また、定期的な変更の機会や校則等に関して生徒の意見表明権を保障する仕組みの構築ができていくか聞く。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		5. 今後の小中学校の施設のあり方は、市民の理解と納得を最優先に	(1) 小中学校の施設のあり方について、当面の見通しを聞く。 (2) 住民の意見を聞き、施設整備の方針に取り入れることが大事だと考えますが、市の見解を聞く。
		6. 公共トイレの洋式化を早急にすすめ、誰もが暮らしやすいまちへ	(1) 本市が管理している公園、墓地、老人いこいの家のトイレの洋式化（バリアフリートイレ）の設置状況を聞く (2) 誰もが暮らしやすい街にするために、現在トイレに男女それぞれに洋式トイレの設置もしくはバリアフリートイレが設置されていない施設については、早急に設置すべきだと考えるが市の見解を聞く。
9	3番 岩崎 哲也 (質問方式) 一問一答	1. 本市の就労継続支援A型・B型事業所の実態調査について。	(1) 就労継続支援A型・B型事業所における支援の質と、加算算定の適正化に向けた実態調査について。 ①本市内の就労継続支援A型・B型事業所について、市内事業所の現状把握と利用者数、運営法人の内訳、加算算定の適正性を、どのように確認しているのか。 ②大阪市で大規模な過大受給の疑いが表面化したことを踏まえ、本市として再発防止策や必要に応じた調査、市内事業所への注意喚起について、利用者が安心して事業所を選べるよう、改めて実態調査されるのか、市の見解を聞く。
		2. 本市の小中学校教職員の働き方改革と心の病対策について。	(1) 小中学校において、心の病を理由とした休職者数の推移や傾向について。 ①本市は現役教職員の休職者数をどのように把握・分析しているのか、高い業務負担を担う現状が、精神的な不調につながっている可能性について、本市教育委員会の見解を聞く。 (2) 組織として継続的に教職員を支える新たな仕組みづくりについて。 ①働き方改革が業務負担の軽減や教職員のメンタルヘルスの改善について、教職員の心の健康を意識した視点で、十分な取組みが行われているのか、本市教育委員会の見解を聞く。 ②問題が顕在化してから対応するのではなく、外部人材の活用など新たな仕組みづくりが不可欠ではないかと考えるが、本市教育委員会の見解を聞く。 ※枚方市の先進的な取組みについて言及する。
10	14番 坂口 真紀 (質問方式) 一問一答	1. 次期学習指導要領を見据えた学校教育の充実について	(1) 不登校児童生徒への支援について ①支援体制の現状と今後の方向性について ②フリースクールへ通う児童生徒への経済的支援の拡充について (2) 多様な学びの研究について ※イェナプラン教育についても言及する。 (3) 特別支援教育と発達検査体制の強化と効果について (4) 学校への作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）など専門職の配置について

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		2. 実効性ある働き方改革の推進について	(1) 管理職の過重労働に対する健康管理の措置について (2) 過重負担になっている課の原因分析と改善策について (3) 働き方を所管する人事課の長時間労働の実態と改善策について (4) 突出した時間外勤務への対応について ①財政課の繁忙期における過重労働対策について ②選挙業務の効率化と組織体制の再構築について (5) DXによる時間外勤務削減の効果と今後の取り組みについて (6) 職員エンゲージメントの定量化による組織改善の導入について (7) 幼稚園・保育園における管理職への業務集中の解消とICT活用について
1 1	9番 山本 剛史 (質問方式) 一問一答	1. 大規模災害時におけるリスク分散を図るため広域道路整備「八尾富田林線」「大阪南部高速道路」の早期整備、事業化を求めて	(1) 本市の地域防災計画において幹線道路寸断リスクをどのように評価しているのか見解を聞く (2) 本市の現在の道路ネットワークは広域避難所及び緊急輸送道路として十分な機能を有しているのか見解を聞く (3) 関係機関に対し早期整備、事業化を求める具体的な要望活動の状況について (4) 広域道路の現在の進捗状況について ①八尾富田林線の現在の整備進捗率、未整備区間と整備区間と今後の事業計画の見通しについて ②大阪南部高速道路の現在の進捗状況について (5) 大阪南部高速道路が整備された場合、本市の経済効果額の試算を求めるが見解を聞く
		2. 学校教育について	(1) 国が検討を進めるデジタル教科書導入について ①国が検討を進めるデジタル教科書導入について、本市の教育委員会の見解を聞く ②デジタル教科書導入が学力低下につながる可能性を指摘する学術研究が多数存在することを踏まえ導入に慎重を求めるが本市の教育委員会の見解を聞く ③北欧諸国でデジタル化を進めた結果、紙教材へ回帰する動きが起きていることを踏まえ紙教材を主体に慎重な運用方針を検討すべきと考えるが見解を聞く ④児童、生徒における読解力や記憶定着率への影響、目の健康、依存症リスクなど科学的根拠に基づく検証を行う必要があると考えるが見解を聞く (2) 教職員の性暴力のデータベース活用の有無について ①文部科学省通知のデータベースを本市教育委員会が把握しているか ②採用、任用時におけるデータベース照会の実施状況について、また活用していない場合の理由について

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
1 2	2番 酒本 千紘 (質問方式) 一問一答	1. 産後ケアについて。	<p>(1) 制度改正及び広域連携の導入について。</p> <p>①令和8年度より、大阪府下の市町村と広域的に連携し、利用できる施設の拡充を図る制度変更の内容及び目的について聞く。</p> <p>②府内一律の委託料に合わせた自己負担額見直しの内容、利用者への影響等について聞く。</p> <p>③自己負担額の上昇により利用が抑制される可能性を懸念しているが、市はどのように認識しているのか聞く。</p> <p>(2) 近年の利用状況及び供給体制の把握について。</p> <p>①産後ケア事業の利用が近年増加している要因について、市はどのように分析しているのか聞く。</p> <p>②需要の高まりに対し、予約が取れなかった件数や待機状況、事業者ごとの受入可能枠の推移等をどのように把握しているのか、また現在の供給体制をどのように評価しているのか、市の見解を聞く。</p> <p>(3) 制度の使いやすさ及び改善点等について。</p> <p>①利用条件、利用回数、申請手続等について、市は利用しやすさの観点からどのように評価しているのか聞く。</p> <p>②需要の増加を踏まえ、利用回数の拡充や対象の見直し、自己負担軽減など制度改善に取り組む考えがあるのか、市の見解を聞く。</p> <p>(4) 居宅訪問型産後ケアの役割及び産後うつ予防の位置付けについて。 ※居宅訪問型産後ケアについて、外出が困難な家庭への支援手法としてどのような役割を担うと認識しているのか、また産後うつ予防の観点からどのように位置付けているのか、市の見解を聞く。</p> <p>(5) 産後うつの実態把握及び早期介入体制について。</p> <p>①産後健診や面談等を通じ、産後うつの実態をどのように把握しているのか聞く。</p> <p>②支援が必要と判断された家庭の把握方法や、支援につながるまでの期間、早期介入体制について市の見解を聞く。</p>
		2. 学校教育費の保護者負担軽減について。	<p>(1) 制服リユースの周知等について。</p> <p>①制服リユースの周知は、バザーや就学時健診、入学説明会等で行われている学校がある一方、個別対応にとどまっている学校もあると聞き及んでいる。制服は入学前に購入するものであることから、購入前段階で全保護者に情報が届く仕組みを整えるべきだと考えるが、見解を聞く。</p> <p>②就学援助世帯にとって制服費用は入学準備における大きな負担となる。就学援助の案内と合わせたリユース情報の提供や、必要な家庭が事前に確保できる仕組みを構築してはどうかと考えるが、見解を聞く。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			<p>(2) 制服のあり方及び小中一貫教育との関係について。</p> <p>①令和5年12月議会の一般質問において、市内で制服を統一することに対して、先進事例を研究するとの答弁があったが、その後どのような調査・研究が行われたのか、具体的な進捗を聞く。</p> <p>②小中一貫校への移行が進められる中で、制服の扱いをどのように整理していくのか聞く。小中一貫校に移行した場合も現行の中学校制服を基本とするのか、新たな制服のあり方を検討するのか、見解を聞く。</p> <p>③本市では、公立小学校の中でも標準服を採用している学校とそうでない学校が混在しているが、その理由について、認識を聞く。</p> <p>④保護者負担軽減及びリユース促進の観点から、小学校標準服や中学校制服のあり方を一定整理し、共通化や統一を検討する考えはあるのか聞く。</p> <p>(3) 学用品の備品化・貸出の拡大について。</p> <p>①令和5年12月議会の一般質問を受け、彫刻刀については学校備品として整備し貸出が行われていると認識しているが、その他使用頻度が低い学用品について、学校備品として整備し貸出を進めているものはあるのか、対象品目及び実施状況等を聞く。</p> <p>②学用品の備品化について、市として一定の基準や方向性を示し、対象品目の拡大を検討する考えがあるのか、また現在実施している取り組みがあれば併せて見解を聞く。</p>